

## 第2回 園芸高等学校協議会（記録まとめ）

平成27年9月25日（金）

13:30～15:30

司会 教頭 書記 南出

### 1 開 会

委員長あいさつ

学校長あいさつ

### 2 授業見学（5限目・6限目）

### 3 協 議（委員長）

#### （1）校長より今年度の取り組みの進捗状況

- ・1年「基礎学力」の試案：国数英理社の教員に授業を行ってもらう。
- ・販売を通じての地域との連携：順調であり、定期市も順調
- ・校内販売所：トレーラーハウスを12月に設置予定
- ・クラブ加入率の向上：1年生の体験入部を行った。生徒会担当教員の他校の取り組みの視察を行った。
- ・SSH：継続申請をするかどうか検討中
- ・中学生へのアピール：見学会・説明会、出前授業、出前の説明会等様々なことをしている。

#### 【意見・感想など】

- ・基礎学力について

教員のモチベーションを上げることは大事ではないか。

やめてしまうと元に戻せないので継続すべきである。

創意工夫が大事。1年担当だけではなく教科として取り組む方が良い。

- ・研究授業の概要について説明（高橋首席）

経験年数の少ない教員とミドルリーダーによる研究授業を実施。

1学期中間まで初任者、1学期末まで2年目、2学期にミドルリーダーによる研究授業を実施し、ミドルリーダーには発問をテーマに研究授業を実施。それを踏まえ初任者による研究授業を実施する予定。

#### <<授業見学>>

#### （2）授業見学を終えて

#### 【意見・感想など】

秋澤委員：全体的に落ちついている。内容は面白いのに成果としてあらわせていない。  
さらに頑張ってもらいたい。

和田委員：授業に好きで取り組んでいることが良くわかる。中学校の間に園芸高校に進学したいと思わせる取り組みが必要である。

北浦委員：実業高校らしさが出ている。販売実習などで中学生に手伝ってもらい、生徒が教える立場にしてみてもいいのではないかな。

実業系は進学・就職どちらにも選択肢がある。これを強みにしてアピールすればよいのではないかな。

卒業後、5・6年たったOBに話をしてもらおうなどで情報を伝えてもらえば学んでいる意義が見えると思う。

山本委員：のびのびと学んでいるので、強い熱意を持って学んでほしい。

(3) 授業アンケートの結果について説明（教頭）

第3回目に分析結果を説明する予定

(4) 本校の現状遅刻（南出首席）

入試倍率等の経年変化について説明

学校教育自己診断質問項目の一部変更について説明

(5) その他

校長より

遅刻を減らす取り組みとしてどのようにすれば良いかな。

委員より

朝の遅刻指導と業間遅刻を分けて考えた方が良いのではないかな。

生活習慣の改善に必要な生徒への指導の徹底

PTAに協力をしてもらえばよいのではないかな。

退学者について

専門教育に興味を持った生徒が何とかなるようになりたい。

卒業生の話を聞かせるなどで興味を持たせることも良いのではないかな。

秋澤委員：学校から委員に対して色々聞いてみても良いのではないかな。

山本委員：第3回目にそういう機会を設けたい。

4 次回協議会について

第1案 2月27日（土）午後～

5 閉会

委員長あいさつ